

第42回奥びわ湖健康マラソン大会



5月18日(日)、実行委員会のもと奥びわ湖スポーツクラブが主管となり、恒例の奥びわ湖健康マラソンが開催されました。

心配した天候も、当日は、清々しい天気となって、熱中症になるランナーもなく、約2100人が元気に完走され、無事に終了することができました。(コース:15km、5km、1.5km)

ご協力を頂いた西浅井中学校、老人クラブ、町内ボランティアの皆様へ深く感謝いたします。

多くのランナーから「素晴らしい1日になった」と感想を頂くことができました。皆様、本当に有難うございました！

「ほっ」とするまち

西浅井地区
地域づくり
協議会
ニュース
2025年7月
第68号

お問い合わせ先：
西浅井まちづくりセンター
0749-89-1125



幼児向けの遊具やマンガがあります。子育て世代が集う場所として利用できます。



テレビやビデオも観られます。大人向けの本やソファもあるので、将棋や囲碁も楽しめます。



ぶらっとは、作品展示などできる共有のスペースです。占有はできません。

まちづくりセンター
2階 市民交流フロア「ぶらっと」を利用しよう！
西浅井まちづくりセンターには、誰もが無料で利用できる市民交流フロア「ぶらっと」があります。まだまだ知らない人もたくさんいると思いますので、あらためてご案内させていただきます。



今年もお花畑大作戦実施します。
びわ湖のてっぺんプロジェクト委員会ではお花畑大作戦として「道の駅 塩津海道あちかまの里」の西側畑と「まちづくりセンター」の玄関先花壇にひまわりを育てています。当地へのお客様にも楽しんでいただけると嬉しいです。7月末の開花が楽しみです。

レゴブロックを使ったプログラミング体験

7月27日(日)に開催予定です。
詳細は、後日、チラシでお知らせします。



是非、お申し込みください。

西浅井地区地域づくり協議会が事務局を務める「びわ湖のてっぺんプロジェクト委員会」は西浅井にある景観や歴史等のあらゆる資源を活用し、地域内外に発信するとともに、まちの魅力を再発見し、まちを元気にすることを目的に取り組んでいます。長浜市の事業委託を受けて、趣旨に賛同して下さる皆さんとともに事業を展開していきます。



地元を明るくする取り組みをお知らせするのが「地協ニュース」です！

令和7年度 定期総会を開催しました。



6月11日午後7時30分から、西浅井地区地域づくり協議会の定期総会が、まちづくりセンターで開催され、議案審議が行われました。第1号議案、第2号議案ともに承認され、第3号議案第4号議案ともに満場異議なく、原案どおり可決決定されました。ご出席いただきました会員の皆様大変ありがとうございました。会員総数 57 名 出席者 40 名 委任状出席 15 名 欠席 2 名

第1号議案
令和6年度事業報告
第2号議案
令和6年度決算報告
第3号議案
令和7年度事業計画
第4号議案
令和7年度予算

西浅井地区地域づくり協議会役員
任期 令和6年7月 1日から
令和9年6月30日まで

会 長	幸田 仁志
副会長	松井 徹
副会長	平塚 久子
事務局長	大田 久衛
監 事	岡本 實
監 事	河原林博美

西浅井地区買い物支援
移動販売事業が開始されました。

集落を回る移動販売事業につきましては
去る四月二十二日に、長浜市、社会福祉協議会
平和堂、当協議会の四者で協定を締結し、六月
二日から事業を開始していただくことができました。
買い物が困難となっている方にとっても
日常生活の見守りを希望されている方にとっても
大変心強い取り組みとなります。

この取り組みが、順調に進み、自治会のコミュニ
ティが活発となり、これまで以上に安心して暮ら
せる住みやすい地域となることを期待しています。

こあいさつ

西浅井地区地域づくり協議会会長 幸田仁志

日ごろは当協議会の諸事業に対し、ご理解、ご協力を賜
っておりますこと重ねて厚くお礼を申し上げます。

さて、当協議会は、平成 24 年に設立し、現在 57 名の
会員がおられます。町内 20 の自治会長をはじめ、町内 23
の各種団体の代表者、そして 14 人の個人会員で構成され
ております。

会員の皆様のご協力を得ながら、各種事業を展開して
おります。ご存じのとおり、主な事業は、まちづくりセンター
をはじめとする社会教育施設や体育施設の管理運営業務
であり、講座やイベントなどの開催でございます。

私たちは、今年度におきましても、この地域にある公共施
設を生かし、心豊かに安心して暮らせるまちづくりのために
取り組んでまいります。

当地域は、市町の合併以来、毎年約100人ずつ人口が
減少しており、現在、約3400人となっています。

これまでの暮らしを守る取り組みと合わせて、地域の活
力を維持するために、交流人口を増やす取り組みが必要と
考えておりますので、引き続き、ご理解、ご協力を賜ります
ようお願いいたします。

